

情報公開文書

研究課題名	浅大腿動脈病変を有する下肢閉塞性動脈硬化症患者における血管内超音波を用いた薬剤コーティングバルーンの慢性期血管反応の評価
研究体制	■他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関： 信州大学医学部)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>信州大学医学部 循環器内科学教室</u> 氏名 <u>植木 康志</u> 当 院 所属 <u>第二循環器内科</u> 氏名 <u>宮下 裕介</u>
研究期間	(西暦) 承認日 ~ 2023 年 12 月
研究の概要	(研究の意義・目的) 浅大腿動脈病変に対する末梢血管形成術 (EVT) において、薬剤コーティングバルーン (DCB) を用いた治療が近年行われるようになりました。これは通常の単純なバルーン拡張と比較して再狭窄の確率が低いことが判明しています。しかしながら、その再狭窄防止効果は何によってもたらされているかについては、未だに十分な研究がなされていません。本研究の目的は、DCB がどのように治療直後および 1 年後に血管への反応をもたらしているかを、血管内超音波を用いて検討することです。 (研究方法) 診療記録より経皮的末梢動脈形成術直後および 1 年後の血管造影検査、ABI、血液検査、下肢動脈超音波検査の結果を収集し、解析検討を加えます。
試料・情報	(試料・情報の項目) 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果 (血液検査、下肢動脈超音波検査、ABI)、経皮的末梢動脈形成術の際の血管造影および血管内超音波の画像データ
研究対象者	倫理委員会承認後から 2022 年 12 月 31 日の期間に当院で浅大腿動脈に病変を有する閉塞性動脈硬化症に対して、薬剤コーティングバルーンを用いた経皮的末梢動脈形成術を受けられた方 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。

お問い合わせ先

〒380-8582

長野県長野市若里五丁目22番1号

長野赤十字病院

所属 第二循環器内科 氏名 宮下 裕介

TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439